

<基本情報①(自治体情報)>

都道府県市名 政令都市名	愛知県		
高校入試 担当部署名	愛知県教育委員会 高等学校教育課 進路指導グループ		
TEL	052-954-6786	FAX	052-961-4864
URL	https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kotogakko/		

<基本情報②(担当した有志の会メンバー情報)>

調査担当者名	伊東浄江 (所属: 特定非営利活動法人 トルシーダ)
--------	----------------------------

この色のセルは、昨年度と表記方法を変えた設問です。

この色のセルは、今年度新しい設問です。

<全国一覧掲載情報>

	I 全日制高校について						II 定時制高校について					
	A.外国人生徒		B.中国・サハリン帰国生徒		C.海外帰国生徒		D.外国人生徒		E.中国・サハリン帰国生徒		F.海外帰国生徒	
	A2-1.措置	A3-1.枠	B2-1.措置	B3-1.枠	C2-1.措置	C3-1.枠	D2-1.措置	D3-1.枠	E2-1.措置	E3-1.枠	F2-1.措置	F3-1.枠
1. 設置されているか(2-1、3-1と一致)	×	○	×	○	×	○	○	×	○	×	×	×
2. 国籍要件の有無		なし		なし		なし		なし		なし		
3. 定員の確保がされているか(3-5の記入欄番号①②から1つ選択)		①定員内		①定員内		①定員内						

I 全日制高校について			
	A.外国人生徒	B.中国・サハリン帰国生徒	C.海外帰国生徒
1.2021年度中について、当該項目の生徒の在籍の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択	有	把握せず	有
2-1.2022年度の一般入試において、当該項目の生徒の受けられる入試特別措置の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質受けられる、等)の場合は「2-1の備考」に明記	×	×	×
2-1の名称			
2-1の備考 2-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記			
2-2.滞日年数制限			
2-3.措置の内容			
2-4.2021年度の入試において、当該の措置で、日本語指導が必要な生徒が受験(受験)していますか? ※有・無・把握せずから1つ選択			

2021年度実施(2022年度入試)調査票

3-1.2022年度の入試において、当該項目の生徒を対象とした 特別入学枠 の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質対象となる、等)の場合は「3-1の備考」に明記		○	○	○
3-1の名称		外国人生徒及び中国帰国生徒等にかかる 入学者選抜	外国人生徒及び中国帰国生徒等にかかる 入学者選抜	海外帰国生徒にかかる入学者選抜
3-1の備考 3-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記				
3-2.滞日年数制限		小学校第4学年以上の学年に編入学した者若しくは第3学年以下の学年に編入学し、特別な事情があると認められる者又は入国後の在日期間が6年以内の者	小学校第4学年以上の学年に編入学した者若しくは第3学年以下の学年に編入学し、特別な事情があると認められる者又は入国後の在日期間が6年以内の者	・原則として継続して2年以上海外に保護者とともに在住していた者 ・令和2年3月1日以後に海外から帰国した者
3-3.入学枠のある学校数/全学校数		11校/145校1校舎	11校/145校1校舎	6校/145校1校舎
3-4.学校名		名古屋南、小牧、東浦、衣台、安城南、豊田工科、豊川工科、中川商業、岩倉総合、知立、豊橋西	名古屋南、小牧、東浦、衣台、安城南、豊田工科、豊川工科、中川商業、岩倉総合、知立、豊橋西	中村、豊田西、豊橋東、名古屋市立名東、千種、刈谷北
3-5.定員 ※該当する方のみ記入	①定員内(枠内)	5%程度まで	5%程度まで	普通科10%程度まで 専門学科30%程度まで
	②定員外(枠外)			
3-6.特別枠の定員数は明確となっており、かつその数まで合格を認めているか (定員数内で不合格を出さない内規等があるか) ※○×から1つ選択				
3-7.試験内容		国・数・外(英語)の基礎的な学力検査及び個人面接。学力検査(3科目)の問題にはルビを振る。	国・数・外(英語)の基礎的な学力検査及び個人面接。学力検査(3科目)の問題にはルビを振る。	国語、数学及び外国語(英語)
3-8.2021年度の入試において、当該の枠で、日本語指導が必要な生徒が受検(受験)していますか? ※有・無・把握せずから1つ選択		把握せず	把握せず	把握せず
その他補足事項 ※措置や枠がある地域については、 2021年度の入試別の受験者数・合格者数、その他事項などを記入		○志願者58名、合格者42名 (外国人生徒及び中国帰国生徒等にかかる入学者選抜として集計) ○3-6については、定員枠は明確に定めているが、不合格を出さない規定はない。		○志願者47名、合格者44名 ○3-6については、定員枠は明確に定めているが、不合格を出さない規定はない。

II 定時制高校について

		D.外国人生徒	E.中国・サハラ以南帰国生徒	F.海外帰国生徒
1.2021年度中について、当該項目の生徒の在籍の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択		有	把握せず	把握せず
2-1.2022年度の一般入試において、当該項目の生徒の受けられる入試特別措置の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質受けられる、等)の場合は「2-1の備考」に明記		○	左記外国人生徒等の「等」に含まれる	×
2-1の名称		外国人生徒等にかかる受検上の配慮		
2-1の備考 2-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記				
2-2.滞日年数制限		小学校第4学年以上の学年に編入学した者若しくは第3学年以下の学年に編入学し、特別な事情があると認められる者又は入国後の在日期間が6年以内の者		
2-3.措置の内容		・基礎学力検査(国・数・英の3科目)の問題の漢字にルビを振る。 ・面接は、個人面接とする。		
2-4.2021年度の入試において、当該の措置で、日本語指導が必要な生徒が受検(受験)しているか? ※有・無・把握せずから1つ選択		把握せず		
3-1.2022年度の入試において、当該項目の生徒を対象とした特別入学枠の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質対象となる、等)の場合は「3-1の備考」に明記		×		×
3-1の名称				
3-1の備考 3-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記				
3-2.滞日年数制限				
3-3.入学枠のある学校数/全学校数				
3-4.学校名				
3-5.定員 ※該当する方のみ記入	①定員内(枠内)			
	②定員外(枠外)			
3-6.特別枠の定員数は明確となっており、かつその数まで合格を認めているか (定員数内で不合格を出さない内規等があるか) ※○×から1つ選択				
3-7.試験内容				
3-8.2021年度の入試において、当該の枠で、日本語指導が必要な生徒が受検(受験)していますか? ※有・無・把握せずから1つ選択				
その他補足事項 ※措置や枠がある地域については、2021年度の入試別の受験者数・合格者数、その他事項などを記入		受検上の配慮を行った外国人生徒数 志願者129名、合格者121名		

Ⅲ高校入学後の状況

1.日本語指導が必要な生徒に対して、入学後の日本語や教科の支援(補習等)にかかわる当該自治体の施策の有無 ※有・無から1つ選択	有	
2.有の場合、その施策の具体的な内容 ※該当する項目にチェック	<input checked="" type="checkbox"/>	A.教育課程に位置づけられた日本語授業(学校設定科目や個別対応授業など単位として認定されるもの)の実施
	<input checked="" type="checkbox"/>	B.教科学習において個別対応や習熟度別の授業を実施
	<input type="checkbox"/>	C.母語(継承語)保持のための授業の実施
	<input type="checkbox"/>	D.担当教員の加配
	<input type="checkbox"/>	E.日本語の授業などの講師や支援者の雇用
	<input checked="" type="checkbox"/>	F.母語(継承語)の支援のための講師や支援者の雇用
	<input type="checkbox"/>	G.その他外部支援者(コーディネーターなど)の雇用
	<input checked="" type="checkbox"/>	H.日本語指導が必要な生徒を対象としたキャリア教育(出口支援)
	その他の施策	多言語対応の小型通訳機を全日制課程11校、定時制課程26校に各1台ずつ配備している。
上記に該当する実施校の校数等	A:1校、B:全日制課程16校、定時制課程21校、F:全日制課程24校、定時制課程24校、H:3名の就労アドバイザーが定時制課程28校、通信制課程2校を巡回指導。	
補足事項		
3.自治体の施策ではないが、各学校で個別に実施していることがあれば記入		
4.2021年度の入試において、海外で中学相当(学校教育における9年の課程)を修了し、来日後直接高校受検(受験)した者の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択、有りの場合はその人数も記入	把握せず	
5.2020年度中に、直接来日後による編入学生の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択、有りの場合は、その人数も記入	無	

IV日本国内にある外国学校からの入学について		
	↓記入欄	備考
1-1.各種学校の認可を得た外国学校の中等部の卒業生について、高校受験(受験)者資格を認めているか否か ただし、中卒認定試験の合格を以て認めている場合は除く。 ※認めているは○印、認めていないは×印のいずれかで記入し、認めていない場合はその理由を備考に記入。検討中あるいは未決定の場合は△を記入し、備考に明記	×	学校教育法第1条に定められている学校ではないため。
1-2. 1-1で認めている場合 ※①～④からいずれかを選択 ①外国学校中等部の卒業生には、そのまま他の生徒と同様に高校入学者選抜の受験(受験)を認めている(外国学校の指定その他の条件を付している場合はその条件を記載) ②学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認を、中卒認定試験・外国人特別入試等とは別途、高校入試に先立って行っている。 ③上記②を実施しておらず、外国人特別入試等を実施し、この合格をもって学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認としている。 ④その他(方法を備考欄に記入)		」
2-1.各種学校ではないが、本国政府の認可を得た外国学校の中等部の卒業生について、高校受験(受験)者資格を認めているか否か ただし、中卒認定試験の合格を以て認めている場合は除く。 ※認めているは○印、認めていないは×印のいずれかで記入し、認めていない場合はその理由を備考に記入。検討中あるいは未決定の場合は△を記入し、備考に明記	×	学校教育法第1条に定められている学校ではないため。
2-2. 2-1で認めている場合 ※①～④からいずれかを選択 ①外国学校中等部の卒業生には、そのまま他の生徒と同様に高校入学者選抜の受験(受験)を認めている(外国学校の指定その他の条件を付している場合はその条件を記載) ②学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認を、中卒認定試験・外国人特別入試等とは別途、高校入試に先立って行っている。 ③上記②を実施しておらず、外国人特別入試等を実施し、この合格をもって学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認としている。 ④その他(方法を備考欄に記入)		
3.上記のⅠⅡ特別措置と入学枠での滞日年数制限について、日本国内にある外国学校の在籍期間は、日本での在在期間に含むか否か ※日本での滞在期間に含むは「含む」、滞在期間に含めないは「含めない」のいずれかで記入	含む	
4.外国学校の中等部の卒業生について、2021年度入試において受験(受験)希望があったか ※あった場合「有」を記入、備考にその人数を記入。なかった場合は「無」を記入。把握していない場合は「把握せず」	把握せず	出願可否についての電話での問い合わせはありません。

V 調査した人からのコメントや関係者の皆さんへお知らせ

※各地域を担当されている皆さんから知っている地域情報を、皆さんの視点からご記入いただきたいです。

「他地域から皆さんが担当する地域に引越し予定をしている中2の外国人生徒とその保護者に伝えたい情報」という想定で、いずれも公開されている情報について、ご無理のない範囲で、ご記入ください。

<p>1.日本語指導が必要な生徒の状況について、支援者の立場から、高校受験(受験)や高校進学に困難なケースや高校入試及び入学後の支援に関して課題と感じていること 高校入試や高校入学後の支援に関して、教育委員会や高校に期待すること</p>	<p>愛知県教育委員会の担当の方は毎年変わりますが、この調査については引き継がれていて継続の意義を感じます。しかし、外国人学校から高校受験ができない等の課題について、どうすれば協議の可能性があるのかは見えないままです。令和2年に「外国人生徒及び中国帰国生徒等にかかる入学者選抜」実施校が11校に拡大されましたが、「枠」ではないことで入り易い高校とそうではない高校があること、さらに入学後の支援が学校により異なることで、特定の高校に志望者が集中し、実施校の拡大が機会の拡大につながっていないのではないかと考えられます。高校入学後の日本語支援の充実が必要です。</p>
<p>2.日本語指導が必要な生徒を受け入れている私立高校の情報や課題など</p>	<p>私立学校協会ホームページには、「いじめ・不登校・外国人の受け入れ及びバリアフリー化についての調査」の結果が公開されています。 https://www.aichi-shigaku.gr.jp/</p>
<p>3.外国人生徒の高校入試などについて、近くで相談できる場所 ※担当地域内の団体名やURLなどを記入ください</p>	<p>愛知県教育委員会高等学校教育課「高等学校への入学」(11)愛知県の公立高等学校をめざす外国人の皆さんへ https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kotogakko/0000027366.html npo法人トルシーダ https://torcida.jimdofree.com/(メール、電話等で問い合わせ)</p>
<p>4.多言語による関連情報 ※担当地域の自治体やNPOなどで公開されているものがあれば、URLなどを記入ください。</p>	<p>名古屋国際センター「外国人の子どもと保護者のための進路ガイダンス2021」配布資料 https://www.nic-nagoya.or.jp/japanese/nicnews/event/2021/07251000.html</p>
<p>5.その他 ※「こんな情報もあるよ!」ということ、メッセージや助言などがあれば、調査した人からの目線でぜひご記入ください。なお、そのままホームページには掲載致します。</p>	<p>公立中学校からブラジル学校への編入について相談があったり、公立中学からブラジル学校高等部へ進学したりするケースを耳にします。このようなケースでは日常生活には困らなくてもポルトガル語の読み書きの力が不足している、学習用語が分からず、勉強についていけないという反転した言葉の課題が現われています。ブラジル学校から高校受験ができないという教育制度が繋がっていないことの課題と、基礎学力を付けることの重要性を改めて感じます。</p>